

## フォローアップ報告書

調査名		5.北陸圏における真に暮らしやすい接続型都市圏の形成の推進調査	
調査主体	幹事府省(庁)局課名	国土交通省北陸地方整備局企画部広域計画課	
	関係府省(庁)局課名等	国土交通省北陸地方整備局、国土交通省北陸信越運輸局	
調査地域		富山県、石川県、福井県、新潟県	
調査年度		平成20年度	
配分額		33,984千円	
調査概要	調査内容	北陸圏広域地方計画に位置付けられている「子育て支援の充実及び女性・高齢者や団塊世代をはじめとした誰もが暮らしやすい生活環境の形成」及び「都市と農山漁村が共生する持続可能な接続型都市圏の形成」の具体化を図り、自立的・持続的な地域づくりに向けて「人々をひきつける「暮らしやすさ」日本一」という北陸圏の将来像の実現方策を検討するものである。	
	調査結果(成果)	関係機関が連携して検討を深め、北陸圏の地域特性を把握するとともに、自立的・持続的な地域づくりの具体的な方策を提示することができた。またアンケートやヒアリングにより生活者の実態を把握することで、圏域の問題点・課題が明らかになったため、その解決に向けた取組方策を提言し取りまとめるとともに、広域地方計画へ反映した。	
	関係する広域地方計画(中間整理(案)等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸圏広域地方計画中間整理(平成21年3月27日幹事会資料) 第3章1 安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実、及び第4章4.豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト</li> <li>・北陸圏広域地方計画に関するプロジェクト検討参考資料(平成21年3月27日幹事会資料)4.豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト</li> </ul>	
		調査結果の活用状況	調査結果を受けた具体化
計画	期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年2月26日国土形成計画シンポジウムでの報告およびパネルディスカッション資料として活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸圏広域地方計画 計画原案 第3章1 安全・安心でゆとりといやしにあふれる人をひきつける暮らしの充実、及び第4章4.豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト及び第4章4 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクトに記載予定</li> </ul>
フォローアップ	21年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸圏広域地方計画原案の修正検討や協議会資料として活用。</li> <li>・特に、北陸圏広域地方計画において、9つのプロジェクトを設定するために活用。</li> <li>・また、9つの各プロジェクトについて、モニタリングしていくための基礎資料として活用し、具体的施策へ反映。</li> </ul>	<p>平成21年8月に策定された「北陸圏広域地方計画」に反映。特に「豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト」を中心に、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①北陸圏の強みである接続型都市圏の維持・発展</li> <li>②高齢者が安心して暮らすことのできる生活環境の実現に向けた取り組み内容に反映された。(情報通信基盤、高速交通基盤、地域公共交通地域共通定期券、高次医療等)</li> </ol>
	22年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ワーキンググループ(作業チーム)に必要な推進状況更新の会議資料として活用。</li> <li>・北陸圏の接続都市(自治体)へのアンケート調査及びヒアリングの基礎資料として活用。</li> <li>・北陸圏広域地方計画の重点推進施策のうち、「北陸圏における共通カードに関する検討」を立ち上げるための基礎資料として活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸圏広域地方計画ワーキンググループ(作業チーム)を立ち上げ、モニタリングを実施。</li> <li>・平成21、22年調査結果を受けて、</li> <li>①公共交通機関の維持・向上</li> <li>②まちなかの活性化</li> <li>③若い人材の定着とシルバーパワーの活用</li> <li>④冬期間における日常生活レベル維持</li> <li>⑤観光・交流の推進</li> </ul> <p>の各課題に対する持続的成長方策に向けた取り組み内容に反映。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「北陸圏における共通カードに関する検討会議」を設立。</li> </ul>
	23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸圏広域地方計画の重点推進施策のうち、「北陸地域における公共交通機関の乗り継ぎの円滑化、利便性向上」立ち上げの基礎資料として活用。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北陸圏における共通カードに関する検討会議」を3回開催。</li> <li>・「北陸地域における公共交通機関の乗り継ぎの円滑化、利便性向上」を目的として、交通事業者と自治体を対象とした説明会を2会場で開催し、携帯電話などで情報入手できるよう支援。</li> </ul>
	総括的評価	<p>調査結果は、北陸圏広域地方計画のうち、主に「4. 豊かな暮らしを育む接続型都市圏形成プロジェクト」に反映されている。具体的には、北陸圏の特色を活かし、人をひきつける暮らしを充実させるため、富山市での「おでかけバス・おでかけ電車事業」や、金沢市での「金沢ふらっとバス運行事業」、福井市では「にぎわい創出、まちなか居住推進」等、積極的に都市機能を強化していると共に、LRTやシャトルバスの運行など、都市交通の充実も進められている。</p> <p>また、「北陸圏共通カードの導入検討」や「北陸地域における公共交通機関の乗り継ぎの円滑化、利便性向上」にも活用されているところであり、当初の期待された効果は達成されたと考えられる。</p>	